

1 概要

- ・月島地域の中学校の生徒数増加により地域全体で教室数の不足が見込まれることから、最大30学級まで対応可能な新校舎を、晴海中学校の新校舎として建設します。
- ・新校舎は、東京都から借り受ける晴海二丁目都有地に整備します。
- ・また、月島第一小学校も狭隘化のため改築が必要となっており、改築時の仮校舎の整備地について検討を進めてきたところです。近隣に仮校舎を整備できる候補地がないことから、今回建設する校舎を、月島第一小学校及び月島第一幼稚園の改築のための仮校舎・仮園舎として使用した後、内部改修を経て、晴海中学校の新校舎として使用します。

(1) 校舎整備計画

【先行利用】月島第一小学校・月島第一幼稚園仮校舎

- ・学校運営規模

月島第一小学校：24学級

月島第一幼稚園：保育室7室＋預かり保育

【内部改修後】晴海中学校新校舎

- ・学校運営規模

24学級（最大30学級まで対応可能な設えとする）

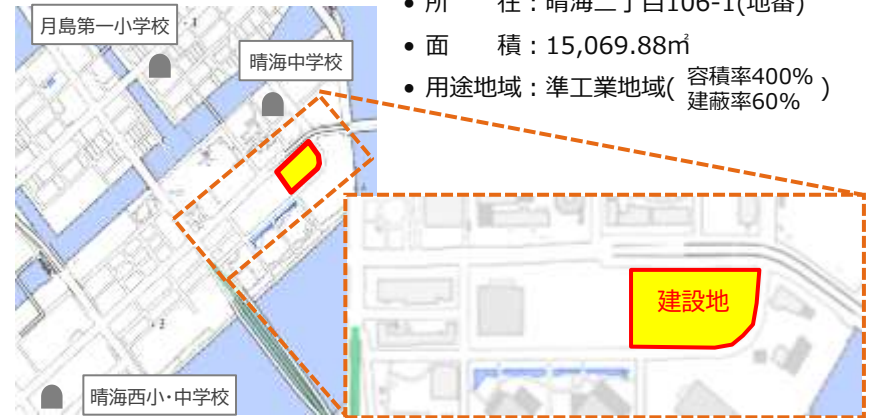
設計規模

敷地面積 15,069.88㎡

規模 耐火構造、地下1階・地上5～6階建て（設計による）・
延べ面積17,000㎡程度

主要用途 学校等

(2) 建設地



- ・所 在：晴海二丁目106-1(地番)
- ・面 積：15,069.88㎡
- ・用途地域：準工業地域(容積率400%
建蔽率60%)

(3) 全体スケジュール案

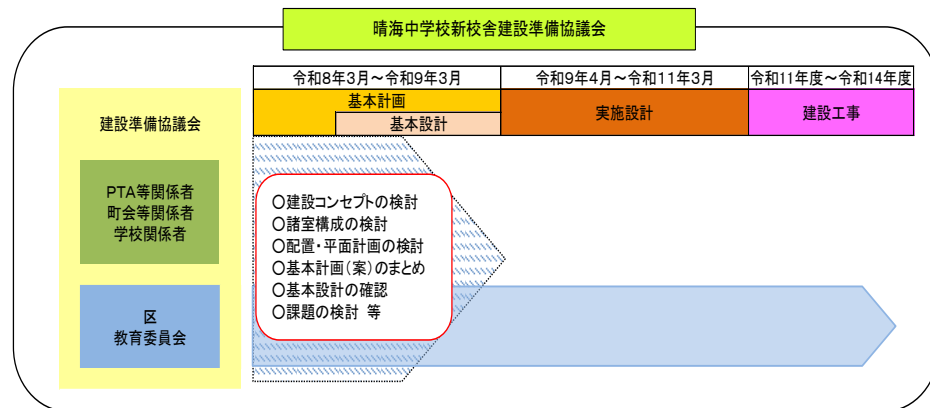
年度 場 所	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22
	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040
晴海二丁目 都有地												設計				
		設計・諸手続				建設工事・開設準備			[夏]	月島第一小・幼 仮校舎運用		改修	[春]	晴海中学校 新校舎運用		
月島第一小学校 (現所在地)													[春]	月島第一小学校・幼稚園 新校舎・園舎運用		
		月島第一小学校・幼稚園 現行校舎・園舎運用														
晴海中学校 (現所在地)													設計			
		晴海中学校 現行校舎運用										改修	区立小 不足教室対応			

2 建設準備協議会について

- ・晴海中学校の新校舎としての建設計画を円滑に進めるために、晴海中学校新校舎建設準備協議会を設置します。
 - ・月島第一小学校、月島第一幼稚園は、今回整備する晴海二丁目の校舎を仮校舎・仮園舎として使用するため、月島第一小学校、月島第一幼稚園の改築準備協議会は、新校舎・新園舎を建設時に別途設置します。
- また、月島第一小学校、月島第一幼稚園が晴海二丁目の校舎を使用する期間中の学校運営に関しては、別途協議する場を設ける予定です。

(建設準備協議会でまとめる内容)

- | | | |
|--------------------------------|----------------|-----------|
| 1 建設コンセプト | 令和8年5～6月 | 第2回協議会で検討 |
| 2 諸室構成、配置計画 | 9月 | 第3回協議会で検討 |
| 3 基本計画(案)
(建設コンセプト・配置・平面計画) | 11月～12月 | 第4回協議会で検討 |
| 4 基本設計 | 令和9年2月 | 第5回協議会で確認 |
| 5 実施設計 | 令和9年4月～令和11年3月 | |



- 建設コンセプトとは、
基本設計に反映させる建設の基本的な方向を示す方針です。こんな学校にしたい、こんな機能を盛り込みたいという協議会での意見をもとに、いくつかの柱を立ててまとめていきます。
- 基本計画とは、
建設コンセプトに基づき、建ぺい率や高さ制限等の建築条件等を踏まえて、ブロックプラン（配置・平面図）等の基本的な構想をまとめた計画です。基本設計の前提となります。
- 基本設計とは、
基本計画の内容に基づく、平面、立面、断面図等からなる実施設計を行うための第一段階の設計です。
- 実施設計とは、
実際の工事を施工できる意匠図や構造図、設計図等をつくる詳細設計です。これを基に工事費用の見積もりを行います。

3 晴海中学校の建設コンセプト

・コンセプトの着想の源について

学校では、子どもたちの健やかな成長のために、「教育理念」と「教育目標」という二つの大切な指針を掲げています。これらは、学校がどのような子どもたちを育てたいかを明確にしたものであり、学校の教育活動の土台となるものです。

校歌は、建学の精神や地域の特色を凝縮した「学校の象徴」であり、生徒・卒業生・教職員の「一体感」や「帰属意識」を育むとともに、地域の歴史や文化・伝統を継承していく役割も果たしています。

このことから、晴海中学校の教育理念、教育目標と、校歌の歌詞から着想を得て、晴海中学校の建設コンセプト案について、以下のものを考えました。

建設コンセプト案

自然と繋がり、夢を育む、未来へ開かれた「学びの港」

— 活力を育み、多様な「共生」を実現する学び舎 —

・コンセプトイメージ

晴海という海を臨む場所であり、校歌の「太平洋」「黒潮」「港」といった要素から、自然との繋がりを大切にしつつ、生徒たちが社会や世界へ旅立つため、自ら課題を見つけ、「考え」、行動し、未来を切り拓く力を「創造する」ことができる出発点（港）となるような学校をイメージしました。

・サブタイトルイメージ

「健やかな」活力を育み、生徒たちの内なるエネルギー（「わく血潮」、「わく力」、「わく希望」）を引き出しつつ、異なる背景や個性を持つ人々（生徒同士、地域住民、自然）が互いに尊重し合い、「思いやる」心と共に生きる「共生」の精神を育む学校をイメージしました。

【晴海中学校の教育理念・教育目標】



【晴海中学校校歌】

校歌

作詞：羽曾部 忠
作曲：松本 民之助

一、太平洋の黒潮が
朝な夕なに呼びかける
文化の花の咲くところ
この学舎に 寄り集う
若いわれら 若いわれらに
わく血潮

二、かおりゆかしい木をのせて
流れて注ぐいく筋の
川を友とし親として
この学舎に おつき合う
若いわれら 若いわれらに
わく力

三、港の空の果て遠く
大きな夢をふくらまし
はばたく鳥が 行く船が
この学舎に 競い合う
若いわれら 若いわれらに
わく希望

4 他校の建設・改築コンセプト

【晴海西小学校・晴海西中学校の建設コンセプト】

コンセプト

「輝く未来を地域と築く、新しいまちの学び舎」

サブタイトル

－子供たちがのびのびと笑顔で過ごせる、地域とともに成長する学校－

- ①未来に向けて、子どもたちが、「知・徳・体」を兼ね備え、地域を担い、世界に羽ばたく人材を育む場として、小中一体整備の利点を生かし、ゆったりとした空間を確保するとともに、緑豊かな環境を実現します。
- ②地域活動の拠点となるよう、積極的に体育館やプール等の地域開放を行うとともに、災害時には、防災の拠点としても機能するよう設備の充実を図ります。
- ③東京2020大会の選手村レガシーを活用しつつ、将来にわたってこの地域の拠点であり続けるよう、まちの成長や社会の変化に対応する可変性を持たせ、地域とともに成長していける施設づくりを心がけます。

①「学びの場としての学校、②「まちの拠点としての学校」、③「地域とともに成長する学校」という三つの視点から新しいまちの象徴となる学校づくりを推進します。



【日本橋中学校の建設コンセプト】

コンセプト

「地域の歴史と伝統に包まれ、仲間と集い健やかに成長できる学校」

サブタイトル

－千代田公園とともに地域のランドマークを目指して－

日本橋中学校は開校以来、日本橋地域唯一の公立中学校として、隣接する千代田公園とともに地域の中で親しまれてきました。一方、改築にあたり中学校敷地は狭隘のため、高層化や千代田公園との一体的な土地利用により学校施設を整備する必要があります。様々な工夫により良好な教育環境を確保するとともに、地域や子どもたちに親しまれ、再び千代田公園とともに歩み続ける学校となるよう、以下の3つのテーマに基づき新校舎を整備します。

- ① 時代に沿った学習環境や心身の成長を育む空間、活発に活動できる体育施設を整備し、良好な教育環境を実現します。
- ② 地域と学校、公園が連携して地域の快適性や安全性を高め、地域交流を推進し活気を生み出す施設を目指します。
- ③ 低炭素型の建築物を目指すとともに、千代田公園等と一体となり緑豊かな空間を生み出し、快適な都市環境を創出します。



【晴海西小学校第二校舎の建設コンセプト】

コンセプト

「子どもたちが健やかに成長できる低学年の学び舎」

サブタイトル

— 子どもたちがのびのびと笑顔で過ごせる、地域とともに成長する学校 —

晴海西小学校第二校舎は、本区初の低学年専用として、本校の教育理念を踏まえながら、隣地のこども園や区立図書館併設などの立地特性や周辺環境を活かした教育活動を展開していきます。

また、放課後対策についても低学年児童に特化した児童指導を行うなど、子どもたちが健やかに成長できる低学年の学び舎を実現します。

さらに、子ども同士の交流や様々な体験をすることは、情緒を育み社会性を身に付ける土台となることから、基本コンセプトの特徴を具現化するものとして、以下の3つのテーマに基づき学校施設を整備していきます。

- ① 低学年に合わせた施設づくりとともに、本校舎との連携を推進する良好な教育環境を実現します。
- ② 地域活動の一翼を担い、子どもたちの交流が深められ、安心できる居場所づくりを目指します。
- ③ 本校舎同様にまちの成長や社会の変化に対応し、地域とともに成長していく施設として整備します。

① 学びの場

普通教室・少人数教室
音楽室・図書室・多目的室
特別支援教室
体育館・運動場・プール

② 交流の場

交流ルーム
プレティプラス
体育館・運動場

学 校
低学年の学び舎

③ 地域とともに成長する

体育館・運動場・防災拠点倉庫
将来の他用途施設への転用

【阪本小学校の改築コンセプト】

1 番校としての伝統と誇りを未来につなぐ風格ある学び舎

～地域との繋がりのなかで伝統文化・環境を学び、
子どもたちの“心と体”をのびのびと育み、最先端の学習を目指す一番校～

阪本小学校は、「第一大学区第一中学区第一番官立小学校阪本学校」として、「一、一」を冠した唯一の学校であり、都市公園の先駆けである坂本町公園にも接する、希有な伝統と特徴的な公共空間を有している。そして、本校のある兜町・茅場町は、銀行・証券取引の発祥の地であり、日本経済の最前線で時代を切り拓いてきた地域である。

教育においては、ピオトープや公園を利用した「環境教育」、日本の伝統や文化に触れる「伝統文化理解教育」、日本随一の金融街という特徴を活かした「金融教育」などを地域とともに実践している。これまでの140年という長い年月のなかで培ってきた「一番校と街の伝統と誇りを未来へとつなぐ」、ここにしかない学校づくりを推進する。



坂本町公園側



正門



屋上校庭

【中央小学校の建設コンセプト】
コンセプト

地域開放型学習拠点 ～家庭と地域をつなぐ学びの拠点～

中央小学校は、体育授業の充実や全校児童による一輪車活動など特色のある取り組みを推進するためより広い面積の校庭確保が課題となりました。そのため、小規模敷地で最大限に校庭を確保する一つの方策として屋上校庭が考えられ、プールは京橋地域で初めての屋内プールとなりました。体育館や会議室等とあわせて地域の活動の拠



小学校外観

点としての活用が検討され、生涯学習・スポーツ活動やコミュニティ活動の場として積極的に学校施設を開放する「地域開放型学習拠点」を目指す学校づくりを推進することが改築のコンセプトになりました。



【豊海小学校の改築コンセプト】
コンセプト

自然環境と融合・調和する学びの広場

～ 空・海・緑 輝く自然の中で、
まちを結ぶ子どもたちの学びの舎 ～



航空写真

豊海小学校の地域は、大都市東京のウォーターフロントとして、近年、目覚ましい発展を遂げています。いわば、未来都市を先取りしたまちです。その中心に位置する学校・幼稚園では、21世紀の地域や日本を担う子どもたちへの力強い教育活動が展開されています。輝く空、広がる海、伸びゆく緑に囲まれた豊かな自然環境の中で「走り、跳び、泳ぎ、学び、歌う」ことですくすくと育つ子どもたちが集うとともに、保護者や地域の人々のふれあいと交流が生れて、多様な世代の方に親しまれ愛される、学校づくりを推進します。



南西側外観



校庭側外観